

# 全国公立高校入試（2020年実施）と「学びに向かう力・人間性等」の評価について

大阪市立加美南中学校 李 洪 俊

## 1. はじめに

学習指導要領では、評価の観点を

**知識・技能** ⇒社会的事象等に関する理解などをはかる知識とそれをまとめる技能

**思考力・判断力・表現力**

⇒社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力、課題を把握し解決に向けての構想力、構想の説明力、議論する力

**学びに向かう力・人間性等**

⇒主体的に学習に取り組む態度 深い理解を通して涵養される自覚や愛情

とまとめている。

さて、その深い理解を通して「自覚や愛情が涵養される」とはどのようなことであろうか。この点に関して、四観点の1つである「関心・意欲・態度」をさらに進めた概念ということになるのかもしれない

### 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の方法

具体的な評価方法としては、ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察や、児童生徒による自己評価や相互評価等の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いることなどが考えられます。その際、各教科等の特質に応じて、児童生徒の発達の段階や一人一人の個性を十分に考慮しながら、「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で、評価を行う必要があります。

「学習評価の在り方ハンドブック」より

が、ではそれを具体的にどのように取り扱っていくかという共通認識は十分にできているのだろうか（現行の四観点のうち「関心・意欲・態度」は評価しても評定には入れないことになっている）。

## 2. 「学びに向かう力・人間性等」の観点を含んだ入試問題とは

入試問題から授業案を構想しようとするアイデアは、古くて新しい。以前からこの発想で入試問題を見てきた。そこで、全国の高校入試問題から「学びに向かう力、人間性等」に関する出題を分析・検討することはできないだろうか考えた。なぜならば、高校入試は、全国の都道府県の入試担当・指導主事らが学習指導要領を念入りに検討・熟知して、それに従って時間をかけて作成された、よく練られた問題になっているはずであるからだ。そうであれば、何問かは「学びに向かう力・人間性等」をめざした問いが組み込まれているだろうと予測ができる。そのような仮定を置くと、「学びに向かう力・人間性等」の観点につながる“主体性”や“深い理解”“自覚”“愛情”につながる出題文の語尾を次のように設定すれば可能だろうと考えた。つまり「このような社会的事象を自分の身の回りの出来事と比較して考えてその問題点を指摘し、そこで利害関係にある立場で、それぞれ解決策を提案しなさい。」「資料から課題を見つけて、その解決方法を提示した資料らを参考にしながらお互いの立場（利害関係の双方の立場）になって（公正や効率の観点から）、提示しなさい」などの文章である。このような文であれば、課題の設定、根拠となる資料の読解、考えを構成する思考力・判断力、説明する言語力などを問う意図が読み取れ、また学習指導要領に合致し評価にもつながるものだと捉えた。

### 3. 「学びに向かう力・人間性等」と入試問題、授業改善の困難さ

昨年度実施された全国の高校入学問題から、「学びに向かう力・人間性等」の観点による出題があるのか、またはそれに近い問題があるのかを、主に経済分野中心に検討した。一部にユニークな出題や新傾向と思われるものも取り上げることにした。

ところで、学習指導要領の評価の三観点は、授業の中でその力を身につけることが求められ、授業実践の積み重ねで評価は行われるものである。評価そのものは、主観的なものなのでそれを補うために日常的なテスト問題のほか、様々な授業実践（レポート作成や文章表記・ポートフォリオなど）で行うものである。ただ、三観点のうち「学びに向かう力・人間性等」は以前の「関心・意欲・態度」と同様にテスト問題には基本的にそぐわないのではなかろうか。その理由として個人的に次の三点がある。

1. 短時間で発問から探究、提案までをテスト問題を設定するのは、時間的にも内容的にも厳しい。資料も多くなりすぎる。
2. 現代的な課題では、解決策が1つしかない答えは少なく、逆に評価が定まっていないので多様な解答が可能となる。それに対しての模範解答による採点が難しくなる。
3. 涵養された自覚や愛情は抽象的で曖昧な概念なので、個人の主観に大きく影響され評価規準（基準）が曖昧になりやすい。つまり、課題に対する自覚と愛情の規準（基準）を客観的に示すことができるのだろうかという疑問が残る。

### 4. 「学びに向かう力・人間性等」の観点を授業に反映させるための方法とは

この評価には、以上のような困難が想定される。しかしそれでも、ペーパーテストを通して評価できるものは利用すれば、具体的でわかりやすいのでよいだろう。その上で、さらに授業で取り組むとすれば、次のようなことが参考になるのではなかろうか。

- 1) ゲストティーチャーや専門家の協力を得た授業。

課題を探究するためには、課題内容が深いレベルのところまで構想しなければならない。そのため、専門的なアプローチが求められ教科書レベルを超えた教材研究が必要となってくる。多忙な教員一人でそれがなかなか難しい。一つの方法として、それぞれの課題に応じたゲストティーチャー（専門家）を教室に招聘してタイアップすることである。（例：以前にあった「よのなか科」や専門家の派遣がある「租税教室」や「金融教室」などが参考になる）。

- 2) 過去の入試問題（特に課題学習的な出題）を参考に授業で活用する方法。例えば、今年の例を取り上げれば新潟県や長野県・広島県・大分県のような手法を工夫して取り入れた授業を実践する。

パターンの一例（下の（ ）は個人的な解釈）

- 新潟県 【背景・原因】 ⇒ 【できごと・内容】 ⇒ 【結果・影響】  
（多様な要因の提示） （内容説明） （社会的な影響の提示）
- 長野県 手順1 ⇒ 手順2 ⇒ 手順3  
（政策？選択） （課題設定） （解決策と説明）
- 広島県 条件1 ⇒ 条件2  
（資料の分析・根拠の提示） （具体的な提案の説明）
- 大分県 資料からわかること ⇒ 設定した課題 ⇒ 課題解決のための提案  
（資料の読み取り） （複数の設定） （課題に応じた提案）

3) 授業名人の授業実践を参考にして実践すること、など。

いわゆる授業名人は、生徒の主体性を導き出す独自の教材観や発問方法、取り組み方法を身につけている。ただし、同じように実践してすぐに成果をあげることは簡単ではない。なぜなら、授業実践は経験と熟練の技（技能）の集合体といえるだろう。それゆえ知識よりも実践の繰り返しが最短の道ではないだろうか。最初は、ただの真似から始めて、それを繰り返す中から独自の工夫を加えて実践を積み重ねて追究していくと徐々に授業のコツがつかめるようになっていく。そこまでになると、自然と生徒の主体的な学びと観点別評価にも対応できるようになる、といわれている。では、その授業情報をどこで手に入れるか。それは、各種の自主学習会や各研究会などに積極的に参加して、自らが足を運んで学ぶ必要がある。教員自身が主体的に学ぶことを実践しなければ、それらの技や方法は手に入らない。教師自身がまず、深い学びをしないといけない。

## 【2020 年度入試問題の具体例】

- ・ 解答例は、“独自解答” 以外は「旺文社の全国高校入試問題」を参考にしています。
- ・ 「問題文 WEB 転載許可」が取れなかった県については、実際の問題文の代わりに筆者の責任で「出題の趣旨」を載せています。
- ・ 赤字部分は解答例、青字部分は筆者のコメントです。

### （岩手県 8 (3)）地球温暖化を防止するモデル？

[出題の趣旨]

地球温暖化を防止するために国家間で二酸化炭素の排出を削減する義務が負わされているが、先進国と発展途上国間で削減方法について対立がある。その方法とは先進国だけに排出削減義務を課すものでそれを X ルールし、すべての国に“平等”に削減義務を課すものを Y ルールとする。それを世界が先進国の A 国と B 国、発展途上国の C 国・D 国だけと仮定して、X ルールと Y ルールのそれぞれの立場に立って、資料 I ～資料 IV から 2 つ選んでその理由を記述するというものである。

資料 I : A 国～D 国の「一人当たりの国民総所得」のグラフ	資料 II : A 国～D 国の「経済成長率の推移」グラフ [2006 年—2015 年]
資料 III : 2015 年までの過去 100 年間の累積排出量の国別割合のグラフ	資料 IV : A 国～D 国の国別 CO <sub>2</sub> の排出割合 (2015 年) のグラフ

**ルール X: (例) 資料 I と III (理由) 先進国の A 国と B 国は早くから工業化を進めて、それまでにたくさんの CO<sub>2</sub> を排出してきた責任があり、より削減する責任が大きいから。**

**ルール Y: (例) 資料 II と IV (理由) 今は C 国や D 国の発展途上国の排出割合が多くなって、CO<sub>2</sub> の排出とともに削減しないと地球全体で削減できないから。 (独自解答)**

☞ **先進国と発展途上国の対立を、それぞれの主張の根拠を見る問題である。授業では、結論より二項対立の構造で主張を考えると生徒は理解しやすい。(鹿児島県でも類似問題あり)。**

(栃木県 6) 一応、課題解決の提案問題！

6 みどりさんは店長から「国全体で働き手が不足している」という話を聞き、この課題について考えようとした。図1、図2は、みどりさんがこの課題を考えるために用意した資料である。図1、図2をふまえ、どのような解決策が考えられるか、簡潔に書きなさい。

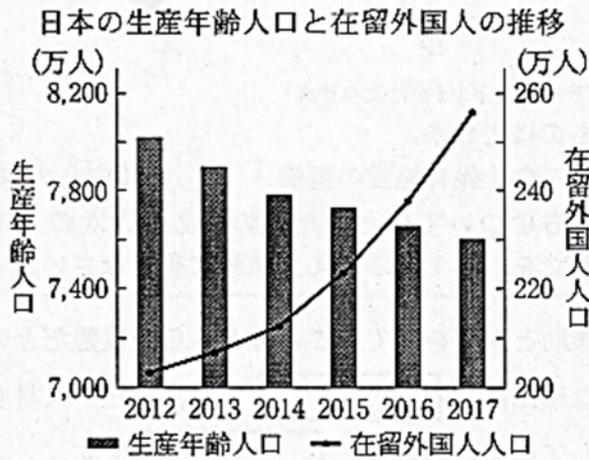


図1 (総務省統計局ホームページほかにより作成)

スーパーにおけるセルフ精算レジの設置状況

	ほぼ全店舗に設置	一部店舗で設置	設置していない
2017年	7.8%	26.4%	65.8%
2018年	16.1	32.8	51.1

図2 (「スーパーマーケット年次統計調査」により作成)

(例) 生産年齢人口が減少しているのに、労働者の不足を補うために、在留外国人を労働者として雇用するとともに、セルフ精算レジの設置をすすめる。

資料から問題解決の提案を書かせる問題。高齢化と人口減、外国人労働者の将来を考えさせる出題となっているが、2つの資料だけで解答例のように書けるのだろうか？資料を無視して、AIロボットの導入で店の無人化案は、間違いなのだろうか（コンビニで実験が行われてい）。授業では、流通業界の最近の動向にも注意を払う必要があるようだ。

(群馬県 1 [5]) インターネットの活用

発表内容

私は、百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録されたことをニュースで知って、大阪府に興味を持ち、調べてみました。大阪府のある近畿地方は、北部には山地がなだらかに続き、南部には紀伊山地があります。そのため、地域によって気候が異なります。大阪湾の海岸線は、縄文時代には複雑に入り組んでいましたが、何度も治水工事をして、現在の景観になったと聞きました。

中世になると、大阪は産業や交通の拠点として栄えました。江戸時代には、西廻り航路が開かれ、商業が発展しました。戦後になると製造業がおこり、様々な技術を持つ企業が今でも多くあります。現在は、多くの外国人も訪れる国際都市として発展しています。2019年には、20か国・地域首脳会議（大阪サミット）が開かれ、情報に関する国際的なルールなども議論されました。

(5) 下線部(e)について、さと子さんは、資料Vを作成した。資料V中の波線部について、どのようなデータを蓄積して、どのように活用している事例があるか。その具体的な事例を1つ書きなさい。

(例)人々の買い物のデータを蓄積し、商品開発に活用している。

#### 資料V 発表メモ

世界では急速にインターネットの利用者数が増えています。個人情報を守る国際的なルールは、まだ整備されていません。大阪サミットでは、情報に関する国際的なルールについて話し合われました。これからの社会では、私たちの暮らしをよりよくするために、人々の生活から得られたデータを蓄積し、有効に活用することが期待されています。インターネットを安全に利用し、情報を有効に使用するためにも、国際的なルールの整備が必要です。

☞ インターネットの便利さを記述させる問題で、いわゆるビックデータのこと。これはどちらかといえば国家や企業がいろいろな意味で注目している。将来を考えさせる問いといえよう。

#### (新潟県 [4] (3)①②) 発表パターン化

[出題の趣旨]

問いが2つあり、1問目は第一次世界大戦についての右のような【背景・原因】⇒【できごと】【日本の動き】⇒【結果・影響】の図を提示して、項目ごとの説明文の中の( )に入る語句の組み合わせを下の語群から選択するというものである。ここで歴史的事象のとらえ方のパターンを示している。次の問いは、同じパターンを応用して、ブロック経済という事象を取り上げて、空白となっている【背景・原因】と【ブロック経済の内容】・【結果・影響】を記述するという問題である。

【背景・原因】・・・説明文



【できごと】【○○の内容】



【結果・影響】・・・説明文

【背景・原因】例: **ニューヨークの株価の大暴落から世界的な不況になった。**

【内容】例: **植民地内と貿易を盛んにし、外国商品に高い関税をかける保護貿易をした。**

【結果・影響】例: **植民地を持つ国と持たない国との対立が激しくなった。**

(独自解答)

☞ 背景・原因⇒できごとの内容⇒結果・影響の流れで歴史的なことがらを理解しているかを見ようとしている。歴史をおおまかな流れで理解し、それをまとめるという思考力と言語力が求められるパターン。一つ一つのことがらをしっかり押さえていけば十分に対応できる問題だと思われる。授業では、原因・できごと・結果と影響という順で、少し時間をとってノートにまとめるという練習をすれば対応ができるだろう。



手順1でアを選んだ場合

手順1 **ア**

手順2 (例) **地域の道路の交通量が多くなり、登下校の際に十分な安全性が確保できなくなる**こと。

手順3 (例) **中学生は小学生と一緒に通学路を歩いて、危険な場所や安全な歩き方を教える。特に事故の多い場所には、高齢者が登下校時に立ち安全を見守る。**

手順1でイを選んだ場合

手順1 **イ**

手順2 (例) **地域の子どもの数が少なくなり、地域の伝統的な子どもの行事が行われなくなっていくこと。**

手順3 (例) **中学生は地域の高齢者から、行われなくなっている行事の由来や方法を教わり、小学生や高校生とともに、地域の人たちと共に行事を復活させる。**

町づくりと高齢者の2つの課題を同時に解決する提案を考える出題で、手順を示して記述させるのは例年通りのパターンとなっている。いくつかの手順(条件:選択⇒課題設定⇒解決策・説明)を示すことで、深い学びを通して思考力や判断力などが身についているかを問う問題となっている。ただし、自覚や愛情を問うことはできるのだろうか…。暗記中心の授業だけの受験生にとってはかなり難しい問題といえよう。このような問題対策は、日頃の授業で同じような手順で資料を選択して多面的に捉える練習が求められる。課題学習に何度か取り組む必要があるが、カリキュラムマネジメントが求められていると受け取った。この数年の長野県の入試問題は、とても参考になる。

## (滋賀県 2 4(2)) 統計資料を読む

(2) 下線部 e は、1955年から1973年にかけて続き、人々の暮らしが大きく変わりました。日本の国民総生産(GNP)は1968年に世界第2位となりました。このように経済大国となった背景には産業の変化が大きく影響しています。高度経済成長期における日本の産業の特徴は何か。資料3を参考にして説明しなさい。

資料3 日本の輸出額上位10品目と総額(単位:億円)

順位	輸出品(1960年)	輸出額	輸出品(1970年)	輸出額
1	鉄鋼	1,397	鉄鋼	10,237
2	綿織物	1,265	船舶	5,075
3	船舶	1,037	自動車	4,815
4	衣類	794	金属製品	2,569
5	魚介類	629	ラジオ受信機	2,502
6	金属製品	532	精密機械	2,261
7	ラジオ受信機	521	合成繊維織物	2,252
8	精密機械	346	衣類	1,664
9	自動車	281	テープレコーダー	1,623
10	陶磁器	243	プラスチック	1,536
	その他	7,551	その他	35,010
	総額	14,596	総額	69,544

注) 文中の下線部 e とは、  
「高度経済成長」のこと

〔数字でみる日本の100年〕より作成

例 技術革新が進み鉄鋼や自動車などの重化学工業が発達し、海外への輸出額を大きく伸ばした。

☞ 傾向として、資料を基にして記号選択より記述

させる形式が増えている。この問題も同様で、従来の知識注入型であれば「重化学工業化」の解答で終わるが、記述では資料やグラフの見方によって異なる表現が多くなるから、どのような語句をキーワードにするか、決めておかないと採点が苦しいかも。

(滋賀県 3 3) 国会チェック機能を記述

3 太郎さんは、条約を締結することが日本の国内にどのように影響するか調べました。

日本国憲法では、条約の締結は内閣の仕事としていますが、国会の承認を必要とします。その理由を資料1、資料2を参考に、60字以上、80字以内で説明しなさい。

資料1 日本国憲法

第41条 国会は、国権の最高機関であつて、国の唯一の立法機関である。

第59条1項 法律案は、この憲法に特別の定めのある場合を除いては、両議院で可決したとき法律となる。

第73条 内閣は、他の一般行政事務の外、左の事務を行ふ。

(略)

3 条約を締結すること。但し、事前に、時宜によっては事後に、国会の承認を経ることを必要とする。

4 法律の定める基準に従ひ、官吏に関する事務を掌理すること。

資料2 条約と

それに関わる日本の法律の整備の例

4 太郎さんは、国際連合で行われているさまざまな活動について調べました。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 紛争後の平和の実現のために、停戦や選挙の監視を行う活動が行われています。この活動の略称を、次のアからエまでの中から1つ選びなさい。

ア NGO イ WHO ウ IMF エ PKO

1985年

女子差別撤廃条約を批准

1986年

男女雇用機会均等法を施行

1999年

男女共同参画社会基本法を施行

例 条約を締結することで、その内容にそつた法律の整備等も行ふことになる。国内法の内容に影響するため、唯一の立法機関である国会に認めてもらう必要があるから。(75文字)

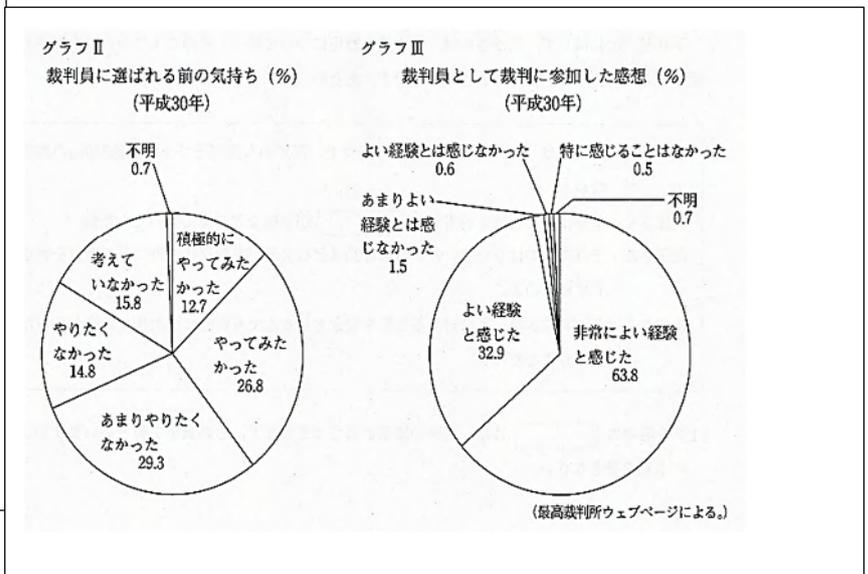
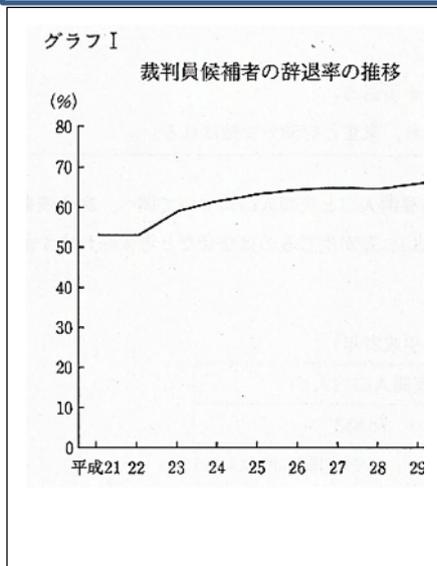
模範解答以外にも、例えば「国権の最高機関であること、国民主権の立場から直接選出された国民の代表である国会議員の承認が必要」という内容の記述は間違いではないけど、資料に沿っていないので正答になるのだろうか。多様な記述が予想され、採点基準が問われる可能性が高いけれど、条約締結には国会の批准が必要であるという原則を問う良問といえる。ただし、これが結構受験生にとって難しいことで、日頃の授業から仕組みや原理の根拠を常に基本から説明する練習が求められる。記述する訓練も必要であろう。

(広島県) **3** 3 (2) 裁判員制度への提案

(2) 咲子さんは、裁判員制度に対する国民の意識について調べ、次のグラフ I を見付けました。咲子さんはグラフ I を基に、裁判員候補者の辞退率の上昇傾向が続いていることが裁判員制の課題の一つであると考えました。この課題を解決するためにさらに調べ、グラフ II・III を付けました。グラフ II・III は、裁判員を経験した人に、裁判員に選ばれる前の気持ちと裁判員として裁判に参加した感想を聞いた結果をそれぞれまとめたものです。咲子さんはグラフ II・III を踏まえて、この課題を解決するための提案をすることにしました。あなたならどのような提案をしますか。条件 1・2 に従って書きなさい。

条件 1 グラフ II・III を踏まえて書くこと。

条件 2 この課題を解決するために実施する具体的な方法を挙げて書くこと。



(例) 裁判員を経験する前は裁判員制度に対する関心は低いですが、実際に経験してみたら非常に良い・良いが 96%以上と感じた人がいるので、裁判員経験者によかった経験話をしてもらおう。

(広島県 4 3) 地域活性化の提案

メモ

岐阜県中津川市について

- ・①人口は、約79,000人（平成27年）で岐阜県内では8番目であり、減少傾向にある。
- ・男女とも65～69歳の年齢層の人口が最も多く、高齢化が進んでいる。
- ・②中山道の宿場（宿駅）であった馬籠宿、落合宿、中津川宿の古い町並みが残る。
- ・馬籠宿は、詩人で小説家の島崎藤村の出身地である。
- ・特産品にトマト、なす、栗、茶、そばなどがある。
- ・主要道路に設けた休憩施設である「道の駅」が5か所ある。
- ・2027年開業予定のリニア中央新幹線の駅が設置され、東京と約58分で結ばれる。

3 太郎さんたちの班では、「岐阜県中津川市について」のメモを基に、この市を活性化するための提案をすることにしました。あなたならどのような提案をしますか。次の条件1・2に従って書きなさい。

条件1 メモを基に中津川市の魅力を挙げて書くこと。

条件2 この提案が、中津川市のどのような人々に対して、どのような効果をもたらすのかを、具体的に書くこと。

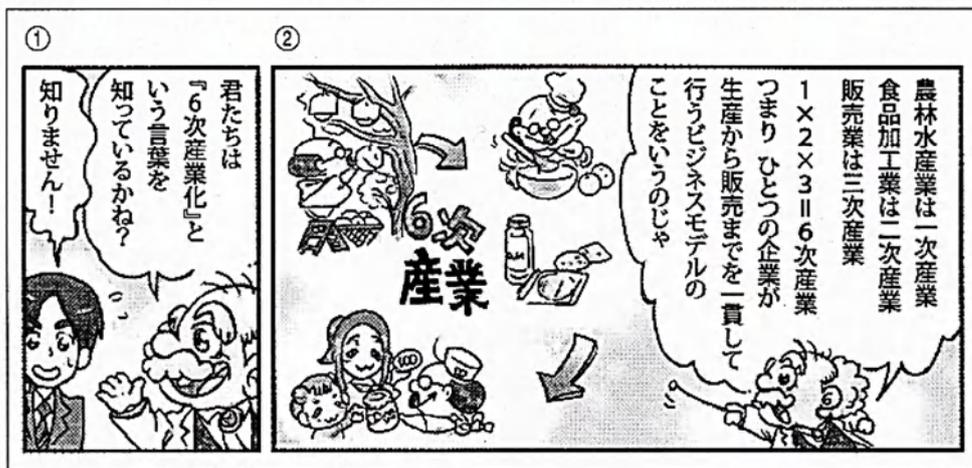
(例) 有名は島崎藤村の出身地である中山道の馬籠宿を紹介して観光客を呼び、リニア中央新幹線の開通後は、東京の集まる多くの外国人にも来てもらい、古い町並みを歩きそば打ちの体験をしてもらう。この提案は、観光地で働く人々や特産品を生産する人々の収入を増加させる効果があると考えられる。

今年、今年度の広島県に、しっかりした提案型の出題があった。主体的で深い学びに対応した内容で、学習指導要領にそった出題といえよう。掲載した最初の問題は、2009年にはじまった裁判員裁判制度は丸10年が経ってその制度を改めて点検する時宜を得た出題と思われる。次の地域活性化の提案は、提案となるヒントを与えてそこから選択させて、提案がどのような効果があるのかを説明させるといった言語力や表現力をみる問題である。しっかり記述することが求められている。

(鳥取県 問題3 問3(1)(2)) 6次産業

問3 鳥取県では、産業界・学術機関・官庁・県民が、様々な形で地域活性化に関する取り組みを行っている。次の資料は、6次産業化について示したものである。資料を読み、あとの各問いに答えなさい。

資料

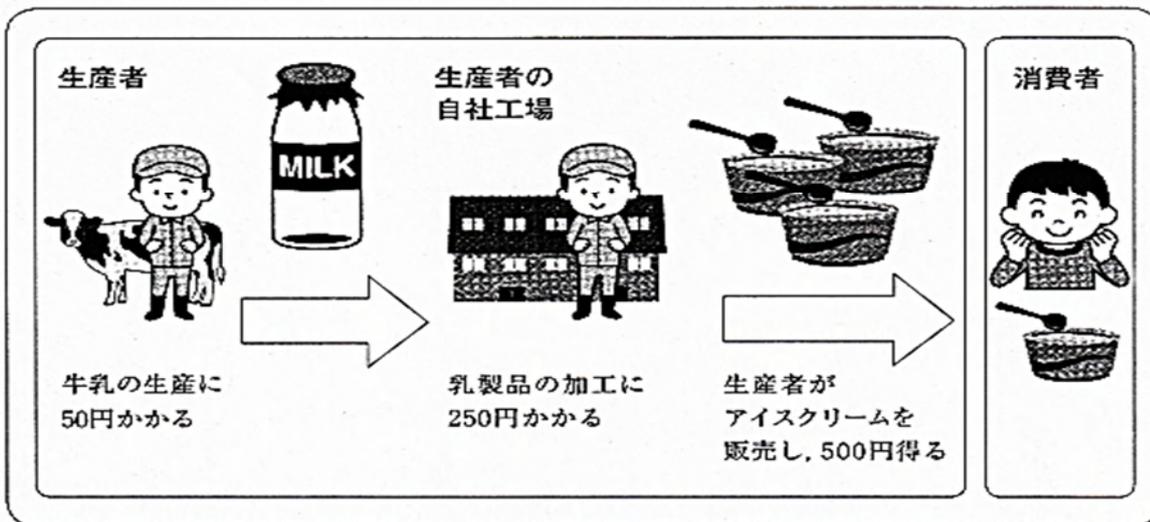
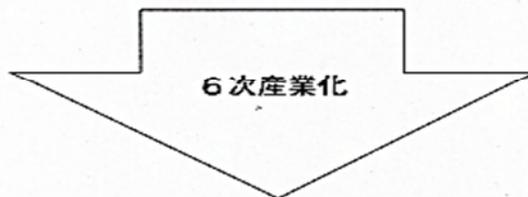
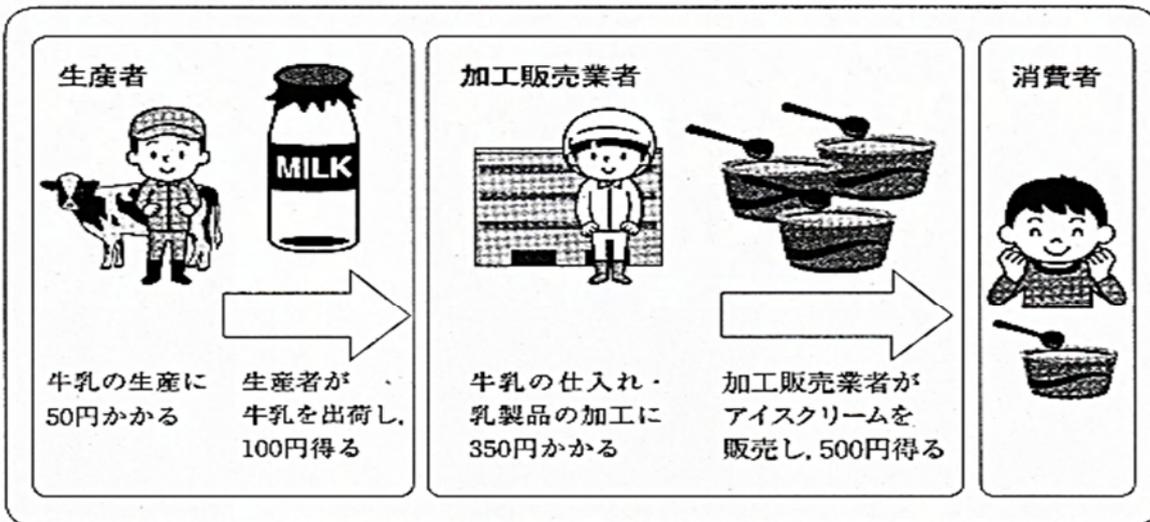


「鳥取県成長戦略冊子」より抜粋

(1) 資料中の6次産業化のような、生産活動の改善努力のうち、影響の大きな発明などを表す語句として、最も適切なものを、次のア～エからひとつ選び、記号で答えなさい。

- ア 財政政策    イ 技術革新    ウ 規制緩和    エ 行政改革

(2) 次の図は、6次産業化のイメージ図である。6次産業化を進めることは、図中の生産者にとってどのような利点があると考えられるか、説明しなさい。

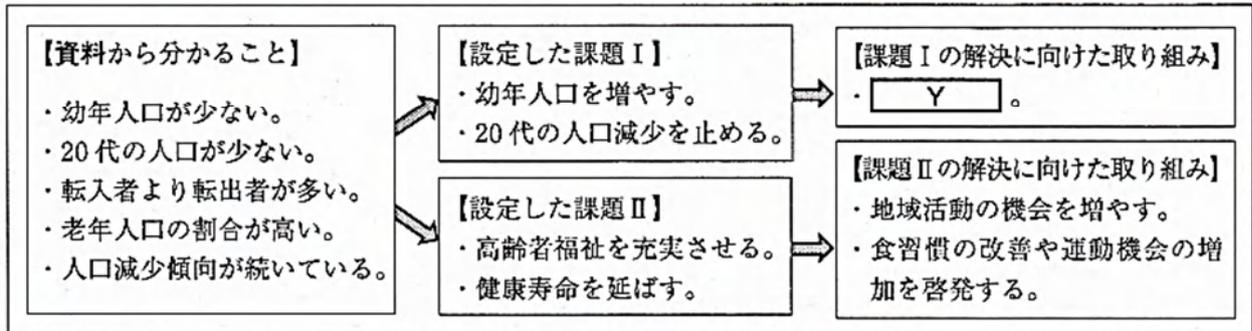


**(例) 生産だけでなく加工や販売を行うことにより、生産者の利益が増える。**

今回の鳥取県は、地元の課題を取り扱ったもので、6次産業という地域活性化の発想を用いた出題である。生徒の実生活と結びついており、授業でも取り扱いやすいと思われる。出題の視点は面白いけど、問いの内容は「経済的利益=人を集める=活性化」というパターンといえるだろう。日本の過疎・過密の問題などの単元で取り組むときに参考になる。

(大分県【5】 (4) 大分県の人口に関する課題と解決策

(4) 花子さんは、資料の最後に、大分県の人口に関する課題と解決に向けた取り組みをまとめた。  に当てはまる内容を、15字以上25字以内で書きなさい。ただし、【設定した課題Ⅰ】の2つのうち、いずれか1つについての解決に向けた取り組みでよい。



(例) 仕事をつくり、仕事を呼ぶことで雇用を増やす。(22文字)

模範解答は、過疎化の解決策としてよく提案されている内容だけど、現実には難しいから今だに過疎化が進んでいるのだろう。出題者は模範解答のような内容を期待していたのろうか、それとも新しい発想を予想したのろうか。「国に大学や研究機関、行政組織の一部移転を願い出る」「大企業・外国企業の誘致」という提案は正答となるのろうか。

(熊本県【5】 6(1)(2) 投票率の課題と対応策

[出題の趣旨]

2017年の衆議院議員総選挙の調査結果から右のような表の資料「年代別の選挙関心度」「年代別の選挙情報の入手先」を提示して次の問いになる。

(1)は、資料1の  の中に表1にみられる選挙関心度の低さに対する対応策を記述させる問いで、(2)は投票率が低いと民主政治において何が問題となるかを「決定」という語句を使って記述させるものである。

内容	表1. 年代別の選挙関心度 表2. 年代別の選挙情報の入手先
資料1	表1から読み取った課題 表2から考えられる対応策 <input type="text"/>

- (1) (例) 40歳以下の世代はインターネットによる入手の割合が多いのでそれをもっと活用する。  
 (2) (例) 民主政治はできる限りみんなの意見を反映させるものだけど、投票率が低いと一部の人の意見で政治が決定されてしまうから。(独自解答)

(1)は対応策(提案)型の出題で(2)は投票率が低い問題点を指摘するもの、社会科らしい問題といえるだろう。(1)の提案で、学校教育が不十分という言葉があれば(それに対する資料が提示されていないが)、あった場合はどのように判断するのだろうか。選挙や投票率の問題は、生活実感と現実政治に関する情報を持っていないとなかなか関心が高くない。選挙によって政治が変わる具体例を授業の中で紹介する(そのプロセスを探究する)工夫が必要だろう。

(熊本県 6) 5) 国際協力の意味

[出題の趣旨]

日本の国際援助に関するテーマが出題である。問題は、日本政府が無償資金協力によってエチオピアに井戸などの給水設備を設置した結果、どのような効果があったかという調査結果を読み取って記述するというものである。提示された図と資料は右のようなもので、見やすくなっている。図の内容は水質改善に関するもので、資料は病気の減少と水くみの時間短縮の効果をしめすものである。

図:水質改善の調査結果

改善した…	96%
改善せず…	4%
資料:水による病気が減少	99%
水くみの時間短縮による	
所得向上の活動	82%など

(例) 給水設備が設置されたことで、水質改善による病気が減っただけでなく、女性の水くみの時間が短縮され、余裕の出た時間で働くこともできるようになった。(独自解答)

与えられた資料から、国際協力の成果を読み解くもので、発展途上国への協力の必要性を考えさせようとしている。ただ、これだけの資料では、本当のことはわからないが…。国際協力には、光の部分と課題の部分があるのでそれを比較しながら考えられる出題であれば深い学びになると思われる。ただし、入試問題でそこまで求めるのは厳しいだろう。資料をしっかりと読み解き、協力の必要性を認識していれば、正答の記述はできる。1つ気になるのは国際協力の単元は中学3年生の最後になるので、受験前で授業実践するための時間が果たして確保できるのだろうか。

(宮崎県 3) 2(4) キャッシュレス社会

(4) 直人さんは、下線部dについて調べていく中で、資料4, 5を見つけ、下のようにまとめました。資料4, 5をもとに、ア, イに入る適切な内容を書きなさい。

資料4	スマートフォンによる電子マネーでの料金の支払い	資料5	キャッシュレスでの支払いが広まりにくい背景(一部)
 <p>キャッシュレス決済が進むことで、レジの混雑解消が進むとともに、商品の売り上げなどの膨大なデータ(ビッグデータ)の収集を行い、それを分析することができる。</p>		<p>キャッシュレス支払いへのさまざまな不安</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 自分の暗証番号などが盗まれてしまうのではないか。</li> <li><input type="radio"/> 自分の購買履歴などの情報が、気がつかない間に知られたり、利用されたりするのではないか。</li> <li><input type="radio"/> キャッシュレス支払い手段を使いこなせないのではないか。</li> </ul>	

(経済産業省資料)より作成

直人さんのまとめ(一部)

キャッシュレス決済の導入は、資料4から、スマートフォンを利用した支払いなどで収集した大量の情報を、企業が分析できるようになったことで、消費者の求めるア ことにつながり、今後、経済を大きく成長させる原動力になる。

一方、課題としては、資料5から、個人情報などへの不安があげられるため、企業が情報モラルを高めるとともに、私たちがイ する力を身につけなければならない。

ア (例) 新たな商品やサービスを提供する

イ (例) 情報を管理したり、正しく判断して活用したり

☞ キャッシュレスや仮想通貨などいずれ現金が使われなくなる現代的な話題を、利点と課題の両面から書かせる点では良問だと思う。ただ穴埋め的な短文の記述となっているので、深く考えた答えを求めることはできないだろう。入試問題だから仕方がないけど少し残念である。流通の導入で使いやすい。

(鹿児島県 1 III) 洪水の時どこへ避難する？

III 次は、中学生のAさんが資料を参考に自宅周辺の防災についてまとめたレポートである。Aさんのレポートを完成させよ。ただし、 X には、 $\leftarrow$ で示した経路⑥か経路⑦のいずれかを選択し、解答用紙のあてはまる方を○で囲み、 Y にはAさんがそのように判断した理由として考えられることを資料から読み取って書け。

Aさんのレポート

この資料の中には、洪水のときに浸水する可能性がある地域が示されており、これによると、私の家も浸水予想地域に含まれています。大雨などにより洪水のおそれがあり避難場所に避難しなければならなくなったときの経路としては、この資料で考えると X を選ぶべきです。それは、 Y からです。

※Aさんの家から経路⑥、経路⑦を通して避難する際には、障害物や交通遮断などはないものとして考えること。  
※資料中の……線は、浸水予想地域の境界線を示す。

資料



(国土地理院の資料などから作成)

X 経路  い  Y (例) 経路  い  は浸水予想地域の外に出るまでの距離が短く、河川の近くを通らずに避難することができるから。

☞ X 経路  あ  Y (例) 経路  い  はより安全なので人々が集中して渋滞がおこって避難するのに遅くなる可能性が高いので、急がば回れで  い の方が早く避難できるから、という解答はどう採点するのだろうか(徒歩や自動車などの条件がないので)?普通では模範解答が正答となるのだろうか。しかし現実には必ずしも正しいとはならないのでは、という疑問が出る。授業で、このような議論があれば面白いが採点では悩んでします。

6 ㉔の一つに地球温暖化問題があげられる。

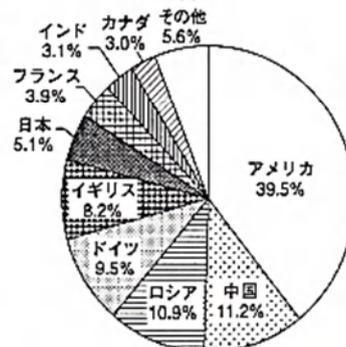
2015年に採択されたパリ協定では、発展途上国を含むすべての参加国が温室効果ガスの削減目標を定め、地球温暖化を抑える対策をすすめることで合意した。しかし、合意するまでには、排出削減をめくり先進国と発展途上国の間で意見の対立もあり長い時間がかかった。資料3のような意見に対して、発展途上国は、どのような意見を述べていたと考えられるか。資料4をもとに1で書け。

※ ㉔とは「世界のいろいろな問題」のこと

資料3 温室効果ガスの排出削減をめくり先進国の主な意見

地球温暖化は人類共通の課題である。発展途上国の中にも急速な工業化で温室効果ガスを多く排出している国もあり、すべての国が排出削減を行うべきである。

資料4 二酸化炭素の累積排出量(1850～2005年)の割合



(独立行政法人国際協力機構の資料から作成)

(例) これまで二酸化炭素を多く排出して地球温暖化の原因を作ったのは先進国だから、まず先進国が排出削減を行うべきである。

☞ 岩手県と異なって、選択肢が一つで、発展途上国の主張を記述させようとしている。1つに決めた方が受験生と採点者にとっては、悩むことは少ない。ただ、深い学びや多面的多角的に課題について考えることを意図するならば個人的には岩手県の方が面白いと思う。

(沖縄県【2】 問4) 災害から身を守るため

問4 次の図5の地図を見て、次の各問いに答えよ。

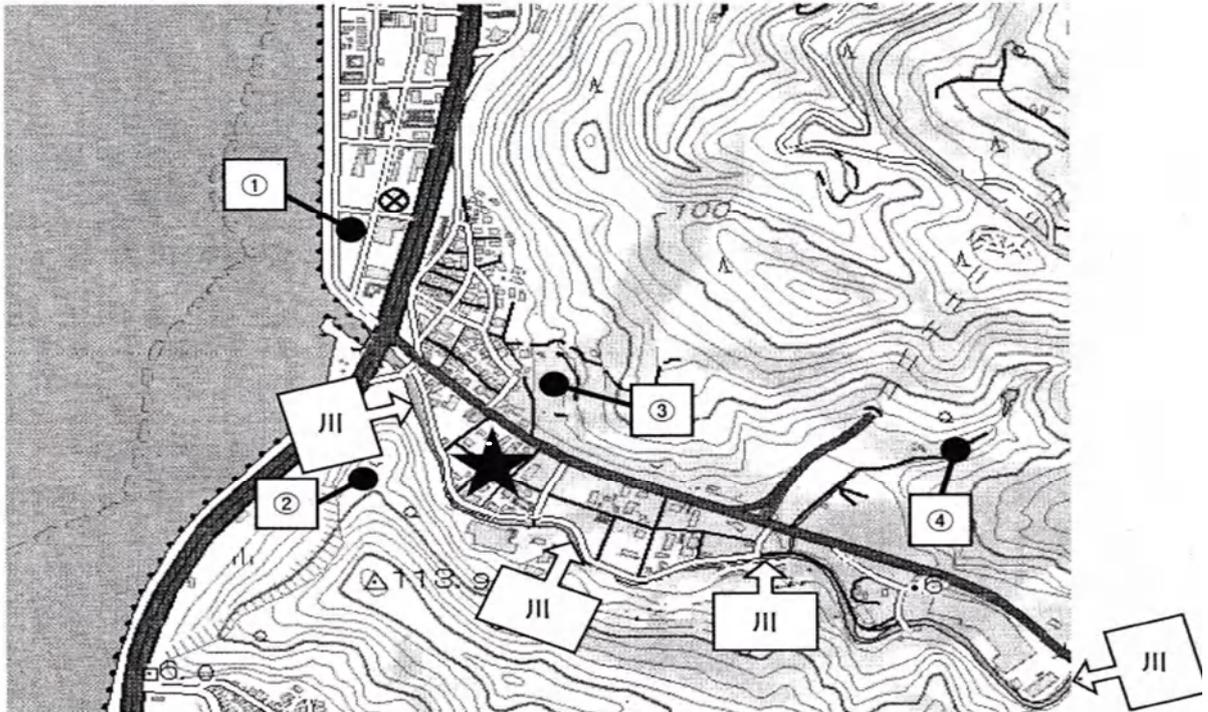


図5 (国土地理院電子地形図2万5千分の1「沖縄県内某所の地形図」を拡大して作成、一部改変)

(2) あなたは、クラス30名の避難訓練で、避難場所を選ぶ係を任されている。図5の範囲には、自治体のハザードマップで、以下の危険が示されている場所が複数ある。

斜面や谷があるところ	→	土砂災害の危険 (警戒区域や危険箇所)
標高10m以下の低地のところ	→	高潮・洪水の危険

訓練の条件は、台風接近や大雨で、自治体から「警戒レベル4 (避難勧告)」が出されている状況とする。あなたの役割は、土砂災害および高潮・洪水の危険を避けることのできる場所・経路を選ぶことである。図5の★印から全員を避難させる訓練を行う場合、図中①～④のいずれの地点に移動するのが最も適当であると考えられるか。解答欄の【 】に適当な地点の番号を記入し、その判断の理由を「標高」および「川」の2つの要素に必ずふれて説明せよ。

番号 ③ 理由：(★の地点から見て) 標高が高くなっていて川から離れることができる から

☞ 鹿児島県とよく似た問題。ここ最近、台風や集中豪雨・ゲリラ豪雨による水害が多いので、防災についての取り組みが必要とされている。今年は、九州に同様の問題が出題されたのも昨年の被害から必然だったのだろうか。沖縄県の問題は、ハザードマップの条件があるので避難場所は、必然的に1つになりその理由も簡単である。普通に考えて解答できる問題といえる。授業では「釜石の奇跡」などの例を学び、校区での具体例を示して取り組みたいものである。

以上